

プロジェクト科目

プロジェクト科目（研究所連携科目）C

前期・選択・2単位

Research Project C

担当教員 谷口文保

対面・遠隔の別

対面

授業の目的と到達目標（学修成果）

少子高齢化や過疎化の進む地域社会の活性化は現代社会の重要課題である。近年全国各地で展開しているアートプロジェクトは、こうした地域の課題を解決する新しいアプローチとして大きく注目されている。本授業では、実際に地域住民の方々と連携し、アートプロジェクトを企画し、それを実践する。その経験を通して、地域社会におけるアートプロジェクトの有効性を体験的に学び、芸術工学の観点から芸術的アプローチによる地域創造の課題と可能性を考える。地域社会におけるアートプロジェクトの企画や提案ができるようになる。地域社会におけるアートプロジェクトの有効性を論じることができるようになる。専門分野が異なるメンバーと協力しあって、グループワークを展開することができるようになる。

授業の概要（内容）

本授業では、兵庫県たつの市の障害福祉事業所や室津地区の方々と連携し、実際にアートプロジェクトを企画実践する。まず全国で展開するアートプロジェクトについて講義を受講する。次に、本学で取り組んできた室津地区におけるアートプロジェクトの展開を学ぶ。その上で、たつの市の障害福祉事業所や室津地区を訪問し、現地調査を実施する。調査結果を基に受講生全員が共同でアートプロジェクトを企画する。企画が決まったら、試作品を制作し、それを持って再び現地調査を行う。現地調査を基に作品や活動内容を練り上げる。そして、地域と連携してアートプロジェクトを実行する。最後に、完成した作品を地域行事で展示発表する。

授業計画

1 講義	オリエンテーション
2 講義	アートプロジェクトの可能性について
3 講義	室津地区におけるアートプロジェクトについて
4 学外演習	現地調査①（NPO 法人えびす、たつの市立室津海駅館など）
5 学外演習	現地調査②（NPO 法人えびす、たつの市立室津海駅館など）
6 演習	アートプロジェクトの企画①提案とディスカッション
7 演習	アートプロジェクトの企画②試作とディスカッション
8 演習	アートプロジェクトの企画③企画案の仮決め
9 学外演習	現地調査②（たつの市立室津海駅館など）
10 演習	アートプロジェクトの準備①企画案の修正
11 演習	アートプロジェクトの準備②企画案の決定
12 学外演習	アートプロジェクトの準備（たつの市立室津海駅館など）
13 学外演習	アートプロジェクトの実践（たつの市立室津海駅館など）
14 学外演習	地域行事での作品展示（たつの市立室津海駅館など）
15 演習	まとめ

実務経験のある教員

教員は各地でアートプロジェクトやアートワークショップを実践してきた芸術家である。

授業時間外学習

神戸芸術工科大学学術リポジトリ (<https://kobe-du.repo.nii.ac.jp>) で公開されている下記報告書を事前に読んでおくと、活動の背景や仕組みが良く理解できる。谷口文保、ばんばまさえ、小越将吾「障害者福祉施設と大学の連携による地域に共創を誘発するアートプロジェクトの研究 - コラボ・ショール 室津を身にまとう -」神戸芸術工科大学紀要2015

評価方法

報告書とアートプロジェクトへの貢献度を総合的に評価する。

使用テキスト

授業中にプリント等を配布する。

参考テキスト・URL

谷口文保、ばんばまさえ、小越将吾「障害者福祉施設と大学の連携による地域に共創を誘発するアートプロジェクトの研究 - コラボ・ショール 室津を身にまとう -」神戸芸術工科大学紀要2015
谷口文保「アートプロジェクトの可能性 芸術創造と公共政策の共創」（九州大学出版会、2019）

熊倉純子監修「アートプロジェクト 芸術と共創する社会」（水曜社、2014）

各自準備物

授業中に指示する。

実習費

交通費は各自負担となる。

その他

兵庫県たつの市に向いて現地調査やイベントを4回実施する予定。実践活動はグループワークで行う。

プロジェクト科目（研究所連携科目）C

前期・選択・2単位

Research Project C

担当教員 曾和具之

対面・遠隔の別

原則対面授業とする。ただし、社会情勢に応じてリモートによるリアルタイム授業を実施することがある。

遠隔の場合の主なツール

Microsoft365

履修制限等

履修希望者が10名以上の場合は、抽選を行うことがある。

授業の目的と到達目標（学修成果）

この授業は、里山における自然環境の活用に関して、実地体験を通じて、自然素材の活用方法について多様な制作および考察を行うことを目的とする。

到達目標

1) 里山における実地委活動を通じて、素材の性質や加工方法について学ぶ。2) 自然素材を用いたプロダクトおよびアート作品を制作する。3) ワークショップを通じて、地域社会との連携を図る。

授業の概要（内容）

日本酒の原料となる酒米「山田錦」を用いた、芸工大オリジナルブランドの日本酒をプロデュースする。具体的な活動内容は、1) 山田錦の育成2) 酒蔵見学および日本酒設計3) ラベル・パッケージデザイン4) とっくり、おちょこなど酒器の制作5) 日本酒を用いたイベント・ワークショップの企画、などを予定している。

プロジェクト科目D（後期開催）との連携科目になる。

授業計画

- ① 初回ガイダンス日時：4月22日（金）18時10分、場所：6号棟6101教室※実地活動のため以下の計画は目安です。※具体的な活動日程については、初回ガイダンスにて連絡する。
- ②③④ 山田錦田植え体験（6月）
- ⑤⑥⑦ 棚田整備（7～8月）
- ⑧⑨⑩ イベント・ワークショップの実施（7～8月）
- ⑪⑫⑬ 酒器（ヒノキ升）制作（6月）
- ⑭⑮ プレゼンテーション（7月）

上記活動の他、下記日程にて定例ミーティングを行う。5月6日（金）、6月3日（金）、7月1日（金）、8月5日（金）

※参考：プロジェクト科目D（後期）11月 山田錦稲刈り12～2月 酒蔵見学、日本酒仕込み体験、酒器づくり体験2月下旬 日本酒完成3月 イベント等による日本酒、酒器の展覧会

授業時間外学習

定例ミーティング以外は時間外での実施となる。土・日の活動もあるので、日程を開けられるようにすること。なお、他の授業（ゼミ活動など）との日程重複については、状況に応じて調整する。

評価方法

体験実習におけるレポート（30%）、イベント・ワークショップ企画書（30%）、各種制作物（40%）

指導方法

基本的に実地による体験型学習とする。それぞれの専門分野に合わせたレポート、作品の作成指導を行う。

使用テキスト

授業中に適宜指示する。

参考テキスト・URL

主な活動場所：国営明石海峡公園神戸地区（通称：あいな里山公園）、<https://kobe-kaikyopark.jp>

各自準備物

必須：筆記用具、スケッチブック、デジタルカメラなどの記録媒体

奨励：作業着（つなぎ）、長靴、ゴム手袋、菅笠※購入について分からない場合は、ガイダンスにて説明する。

実習費

1) 学外での実地活動における交通費や食費などは実費となる。参考：大学からあいな里山公園まで、往復1,460円（神戸市営地下鉄および神戸電鉄を利用）2) 準備奨励用具（作業着、長靴、ゴム手袋、菅笠）を購入する場合は、約5,000円かかる。3) その他、作品制作に係る素材費用が発生する場合がある。

その他

1) 自然公園での活動が多いため、夏の暑さや草木、虫などの環境に問題がない人の履修をすすめる。2) 履修希望者は、4月22日（金）ガイダンスに必ず出席すること。3) 履修者の人数によって、活動内容を変更する場合がある。4) 原則プロジェクト科目C・Dを続けて履修すること。5) 学外での活動がある。現地までの交通費などは、原則、自己負担。6) その他、不明な点やご相談は、4月22日のガイダンス時にお問い合わせください。

プロジェクト科目（研究所連携科目）D

後期・選択・2単位

Research Project D

担当教員 曾和具之

対面・遠隔の別

原則対面授業とする。ただし、社会情勢に応じてリモートによるリアルタイム授業を実施することがある。

遠隔の場合の主なツール

Microsoft365

履修制限等

原則、プロジェクト科目Cを履修した学生に限る。

履修希望者が10名以上の場合は、抽選を行うことがある。

授業の目的と到達目標（学修成果）

この授業は、里山における自然環境の活用に関して、実地体験を通じて、自然素材の活用方法について多様な制作および考察を行うことを目的とする。

到達目標

1) 里山における実地委活動を通じて、素材の性質や加工方法について学ぶ。2) 自然素材を用いたプロダクトおよびアート作品を制作する。3) ワークショップを通じて、地域社会との連携を図る。

授業の概要（内容）

日本酒の原料となる酒米「山田錦」を用いた、芸工大オリジナルブランドの日本酒をプロデュースする。具体的な活動内容は、1) 山田錦の育成2) 酒蔵見学および日本酒設計3) ラベル・パッケージデザイン4) とつくり、おちょこなど酒器の制作5) 日本酒を用いたイベント・ワークショップの企画、などを予定している。プロジェクト科目C（前期開催）との連携科目になる。

授業計画

①初回ガイダンス日時：9月23日（金）18時10分、場所：6号棟6101教室※実地活動のため以下の計画は目安です。※具体的な活動日程については、初回ガイダンスにて連絡する。

②③④ 山田錦稲刈り（11月）

⑤⑥⑦ 酒器づくり（陶芸・1月）

⑧⑨⑩ 酒蔵見学、日本酒仕込み体験

⑪⑫⑬ イベント等による日本酒、酒器の展覧会

⑭⑮ 作品発表会

上記活動の他、下記日程にて定例ミーティングを行う。

11月4日（金）、12月2日（金）、1月6日（金）、1月27日（金）

※なお、日程が変更する場合がありますので、詳しくは後期ガイダンスを参照すること。

授業時間外学習

定例ミーティング以外は時間外での実施となる。土・日の活動もあるので、日程を開けられるようにすること。なお、他の授業（ゼミ活動など）との日程重複については、状況に応じて調整する。

評価方法

体験実習におけるレポート（30%）、イベント・ワークショップ企画書（30%）、各種制作物（40%）

指導方法

基本的に実地による体験型学習とする。それぞれの専門分野に合わせたレポート、作品の作成指導を行う。

使用テキスト

授業中に適宜指示します。

参考テキスト・URL

主な活動場所：国営明石海峡公園神戸地区（通称：あいな里山公園）、<https://kobe-kaikyopark.jp>

各自準備物

必須：筆記用具、スケッチブック、デジタルカメラなどの記録媒体
奨励：作業着（つなぎ）、長靴、ゴム手袋、菅笠※購入について分からない場合は、ガイダンスにて説明する。

実習費

1) 学外での実地活動における交通費や食費などは実費となる。参考：大学からあいな里山公園まで、往復1,460円（神戸市営地下鉄および神戸電鉄を利用）2) 準備奨励用具（作業着、長靴、ゴム手袋、菅笠）を購入する場合は、約5,000円かかる。3) その他、作品制作に係る素材費用が発生する場合がある。

その他

1) 自然公園での活動が多いため、夏の暑さや草木、虫などの環境に問題がない人の履修をすすめる。2) 履修希望者は、4月22日（金）ガイダンスに必ず出席すること。3) 履修者の人数によって、活動内容を変更する場合がある。4) 原則プロジェクト科目C・Dを続けて履修すること。5) 学外での活動がある。現地までの交通費などは、原則、自己負担。6) その他、不明な点やご相談は、4月22日のガイダンス時にお問い合わせください。